

松浦市告示第123号

松浦市条例制定（改廃）請求者の住所氏名及び請求の要旨について

地方自治法（昭和22年法律第67号）第74条第1項の規定による条例の制定又は改廃の請求について、地方自治法施行令（昭和22年政令第16号）第98条第1項の規定により、下記のとおり、松浦市条例制定（改廃）請求代表者の住所氏名及び請求の要旨を告示する。

令和7年11月28日

松浦市長 友 田 吉 泰

記

1 請求代表者の住所氏名

住 所 松浦市志佐町高野免1067番地1

氏 名 和田 大介

2 制定又は改廃を請求する条例の名称及び制定・改廃の別

条例の名称 松浦市議会議員定数条例（平成21年松浦市条例第22号）

制定・改廃の別 一部改正

3 松浦市議会議員定数条例の改正請求の要旨

次期改選選挙に向けて現行の議員定数16人を15人に改正することを請求するものです。本市議会においては、合併直後の定数20人から人口減少等を考慮し改選ごとに定数を1人減じてきましたが、今回は現状維持として改定の動きがありません。議員定数は条例に委任されており、条例は議会で議決されることから結果

的に議員自身が議員定数を決定することになります。ゆえに議員定数は市民に広く支持される根拠が必要です。本市議会においては客観的な根拠が示されていないとの思いから、常任委員会方式といわれる算定方法を用いて根拠を示し条例改正を求めるものです。

常任委員会方式によれば、今回常任委員会の数を3から2に再編したことから、1つの委員会の委員定数を決めると、その2倍が議員定数となります。仮に7人となれば議員定数は14人、6人ならば12人となり、さらに、常任委員会の再編に際して、議長が委員を辞することを可とする条文を入れたことから、実質的に審査をする委員定数に議長1人を足した数を議員定数とすることが考えられます。

本市議会において、合併直後の議員定数は20人、常任委員会は3つであり、各委員会の委員定数は、それぞれ、6人、7人、7人でした。これを踏まえて、2常任委員会の実質的な委員の数を各7人とする、合計で14人となり、これに議長1人を足すと15人となります。また、改選ごとに1人減じてきた例にならっても、現在の16人から1人減で15人となります。（資料1参照）これらを考え合わせると、次期改選選挙における議員定数は15人とするのが妥当であると考えます。

参考までに、県内他市町の状況を調査しました。（資料2参照）

県内13市、8町の内、長崎市、佐世保市、諫早市、大村市の4市と小値賀町を除く9市、7町について、議員1人当たりの人口・有権者数を比較しています。議員1人当たりの人口・有権者数は、その数値が小さいほど、人口・有権者に対する議員の数が多くなります。本市議会は議員定数16人であり、15人とした場合でも最も小さい数値となっており、人口・有権者に対する議員定数が県内で最も多い状況です。よって、将来的な議員定数については、常任委員会方式を基本としながらも、併せて県内他市の状況についても検討し総合的に判断すべきと考えます。

4 請求の受理年月日 令和7年11月25日

松浦市議会議員一般選挙

資料 1

執行日	任期	投票率（％）	当日有権者数	投票者数	定数	候補者数	備考
令和４年１月３０日	４年	68.93	18,239	12,572	16	21	新人当選４人
	～令和８年２月４日						全当選者の平均年齢 62.2才
平成３０年１月２１日	４年	67.84	19,539	13,256	17	19	新人当選３人
	～令和４年２月４日						全当選者の平均年齢 61.9才
平成２６年２月２日	４年	75.82	20,171	15,293	18	19	新人当選５人
	～平成３０年２月４日						全当選者の平均年齢 61.5才
平成２２年１月２４日	４年	81.60	21,041	17,169	19	21	新人当選３人
	～平成２６年２月４日						全当選者の平均年齢 59.4才
(合併後最初の選挙) 平成１８年２月５日	４年	83.94	22,159	18,600	20	30	全当選者の平均年齢 56.6才
	～平成２２年２月４日						
	松浦選挙区	82.25	17,213	14,158	14	19	※特例適用せず、選挙区選挙
	福島選挙区	88.55	2,664	2,359	3	7	
	鷹島選挙区	91.28	2,282	2,083	3	4	

※議員定数に関する地方自治法改正の沿革

平成１１年（地方分権一括法制定）以前は、法定定数制度でしたが、その後、人口区分に応じて上限数を定め、その範囲内で、条例で定数を定める制度となり、平成２３年には、その法定上限制度も廃止され、条例に完全に委任されました。（地方自治法第９１条）

45	合併前の各市町議員定数の合計
21	旧松浦市
12	旧福島町
12	旧鷹島町

松浦市議会 議員定数及び常任委員会構成の検討表 (R7.9 改定)

資料 2

市町名	人口	有権者数	議員 定数	議員 1 人当りの		常任委員会		次回選挙 定数削減	選挙 期日
				人口	有権者	設置数	委員会構成 (条例定数)		
島原市	40,451	35,075	19	2,129	1,846	3	総務(7)、産業建設(6)、教育厚生(6)		(R7)
平戸市	26,437	23,867	18	1,469	1,326	2	総務厚生(9)、産業建設文教(9)、議長辞任可		
対馬市	25,468	23,246	17	1,498	1,367	2	総務文教厚生(9)、産業建設(8)、議長辞任可		5/18
壱岐市	22,314	20,221	16	1,395	1,264	2	総務産業(8)、市民文教(8)、議長辞任可		8/6
五島市	31,434	29,238	18	1,746	1,624	4	総務水道(6)、教育福祉(6)、産業経済(6)、予算(17)、議長辞任可		
西海市	23,765	20,841	16	1,485	1,303	2	総務文教厚生(8)、産業建設環境(8)、予算決算(15)、議長辞任可		
雲仙市	38,625	33,933	19	2,033	1,786	3	総務(7)、文教厚生(6)、産業建設(6)、議長辞任可	19⇒17	11/2
南島原市	37,858	34,926	19	1,993	1,838	3	総務(7)、文教厚生(6)、農林水産・建設(6)、議長辞任可		
松浦市	19,224	17,226	16	1,202	1,077	3	総務(6)、文教厚生(5)、産業経済(5)		(R8)
	19,224	17,226	15	1,282	1,148		(上記をR7.6から下記2常任委員会に再編)		1月
	19,224	17,226	14	1,373	1,230	2	総務建設農水(8)、文教厚生産業(8)、議長辞任可		
	19,224	17,226	13	1,479	1,325		※現在欠員2人		
	19,224	17,226	12	1,602	1,436				
長与町	38,724	32,692	16	2,420	2,043	3	総務厚生(8)、産業文教(8)、議会広報広聴(8)		
時津町	28,809	23,712	14	2,058	1,694	2	総務文教(7)、産業厚生(7)、議長辞任可		
東彼杵町	7,254	6,301	11	659	573	2	総務厚生(6)、産業建設文教(5)		
川棚町	12,371	10,935	14	884	781	2	総務厚生(7)、産業建設文教(7)		
波佐見町	13,757	11,762	14	983	840	2	総務文教(7)、産業厚生(7)		
佐々町	13,720	11,160	10	1,372	1,116	3	総務厚生(5)、産業建設文教(5)、議会広報(5)		
新上五島町	15,413	14,804	14	1,101	1,057	2	ひとづくり(7)、まちづくり(7)、議長辞任可		

※県内市町の内、人口規模を考慮して、長崎市、佐世保市、諫早市、大村市、小値賀町を除く。

※人口及び有権者数（選挙人名簿登録者数+在外選挙人名簿登録者数）は令和7年6月1日現在の数値である。